



2024年4月運航開始のヤマトグループ貨物専用便 東京路線・沖縄路線が決定！

2024年（令和6年）4月に、ヤマトホールディングス株式会社（以下「ヤマトグループ」）と日本航空株式会社（以下、JALグループ）が、持続的な物流ネットワークの構築に向けて共同で貨物専用機の運航を開始します。これに伴い、九州の航空輸送の拠点として北九州空港への就航が決定しています。

このたび、ヤマトグループとJALグループが、就航開始に向けて運航路線、その他進捗状況について発表しましたのでお知らせいたします。

記

1 発表概要

- （1）運航路線** ※当計画は関係当局への申請と認可を前提としています
※2024年4月エアバス A321ceoP2F 型機3機稼働後の運航路線です
・東京（成田/羽田）⇄ **北九州**
・沖縄（那覇）⇒ **北九州**
- （2）機材の受領・改修状況**
・3機のうち2機の受領を完了し、残り1機を2023年1月に受領する予定
・旅客機から貨物機への改修作業を2023年3月よりシンガポールにて順次開始
- （3）運航会社の変更**
・スプリング・ジャパン株式会社に変更

2 運航概要

2022年（令和4年）1月21日付報道発表資料のとおり（参考添付）

【市長コメント】

本年1月に、ヤマトグループと日本航空が共同で、北九州空港を拠点の一つとして2024年（令和6年）4月から貨物専用便を運航することを発表されて以来、本市へも**荷主企業や物流事業者から大きな反響**が寄せられています。「物流拠点都市」として更なる発展を目指す北九州市として、本事業は**北九州空港を核とした地域活性化を加速**させ、**本市はもちろんのこと九州全体にメリットをもたらすもの**として大いに期待しています。

現在、就航開始に向けて機材の準備などが順調に進められていると聞いており、このたび、**運航路線が「東京（成田/羽田）＝北九州」「沖縄（那覇）－北九州」と、北九州空港が首都圏に加えて沖縄ともつながる路線に決定したことを大変うれしく思います。**シルバーをベースとしたボディカラーに、“次の運び方をつくる”ヤマト運輸を象徴する**「クロネコマーク」の飛行機**が北九州市の空を飛ぶ日を心待ちにしています。

本市を拠点の一つとして本事業が順調に立ち上げられ発展するよう、引き続き、**福岡県と連携しながら市一丸となって全力で支援**していきます。

3 補足説明会のご案内

ヤマトグループとJALグループが、本日14時からオンライン形式で報道関係者向け補足説明会を開催します。詳しくは添付の「補足説明会のご案内」をご参照ください。



あたらしいことを、はじめやすい都市。
福岡県北九州市。

【問い合わせ先】

港湾空港局空港企画課（担当：高岡、永津）

TEL：093-582-2308 / FAX：093-582-0181

2022年11月22日

日本航空株式会社

ヤマトホールディングス株式会社

2024年4月から運航を開始する貨物専用機の 運航路線・運航便数を決定

日本航空株式会社（本社：品川区東品川、代表取締役社長：赤坂祐二、以下「JAL」）とヤマトホールディングス株式会社（本社：中央区銀座、代表取締役社長：長尾裕、以下「ヤマトHD」）は、安定的な輸送力確保やサービス品質の維持・向上、地域活性化など社会課題の解決に向け、2024年4月から運航開始を予定する貨物専用機の運航路線および運航便数を決定しました。引き続き両社で、運航開始に向けた取り組みを実施してまいります。

記

1. 運航路線・便数

2024年4月から運航するエアバス A321ceo P2F 型機[※]3機すべてが稼働した後は、以下の4路線にて、合計21便/日を計画しています。

当計画は関係当局への申請と認可を前提としています。

- (1) 東京（成田/羽田）＝北九州
- (2) 東京（成田/羽田）＝札幌（新千歳）
- (3) 東京（成田）－沖縄（那覇）
- (4) 沖縄（那覇）－北九州

※最大搭載重量：28t/機（10t車約5～6台分）

搭載コンテナ：AAYコンテナ（メインデッキ）：14台

AKHコンテナ（ロワーデッキ）：10台

2. 機体の受領・改修状況など

(1) 受領状況

3機のうち2機の受領を完了し、残り1機を2023年2月に受領する予定です。

(2) 機体改修

旅客機から貨物専用機への改修作業を2023年3月よりシンガポールにて順次開始します。

貨物専用機への改造プログラムはドイツEFW社[※]と契約しています。

※EFW社は、航空機メーカーであるエアバス（AIRBUS）社とシンガポールのST Engineeringが共同で設立した、エアバスの機体を旅客機から貨物専用機へ改修を行う専門会社です。

(3) 運航会社

運航会社を JAL 連結子会社であるスプリング・ジャパン株式会社に変更します。

JAL グループは、外部環境を踏まえた上で経営資源配分の最適化を図り、グループ内 LCC の事業基盤を強化するとともに、2024 年 4 月からの貨物専用機の運航開始に向け JAL グループ全体で準備を加速します。

(4) その他

①施設・機材関連

就航予定各空港において、貨物専用機就航に伴い必要となる機材の導入・施設関連の整備を進めています。

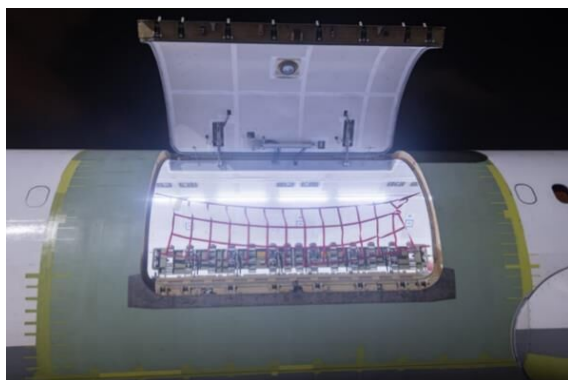
②採用関連

2024 年の就航に向けて運航に関連する要員や、貨物をハンドリングする要員など、両社ともに新規採用を進めます。

【参考画像】

Airbus321-200P2F 機体改修部分イメージ

(1) メインデッキカーゴドア



(2) メインデッキ内



(3) 受領済み機体の保管風景、機体デザインイメージ



以上

【お問い合わせ先】

<一般の方>

ヤマト運輸株式会社 コールセンター TEL：0120-01-9625

<報道関係の方>

日本航空株式会社 広報部 TEL：03-5460-3105

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略担当 TEL：03-3541-4141

【参考プレスリリース】2022年1月21日

「持続的な物流ネットワークの構築に向けてフレイターの運航を2024年4月から開始」

https://www.yamato-hd.co.jp/news/2021/newsrelease_20220121_5.html

補足説明会のご案内

2022年11月22日

報道関係各位

日本航空株式会社
ヤマトホールディングス株式会社2024年4月から運航を開始する貨物専用機の
運航路線・運航便数決定に関する補足説明会のご案内

日本航空株式会社（本社：品川区東品川、代表取締役社長：赤坂祐二）とヤマトホールディングス株式会社（本社：中央区銀座、代表取締役社長：長尾裕）は、本発表に伴い、同日（11月22日）14時からオンライン形式で報道関係者向けの補足説明会を下記のとおり実施いたします。時節柄ご多用かと存じますが、何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

- 開催日時：2022年11月22日（火）14:00~14:30 ※終了時間は予定です。
- 説明者：
日本航空株式会社 経営戦略部 Modal Innovation Project 推進室
室長 西尾 真治（にしお しんじ）

ヤマト運輸株式会社 経営戦略部 Modal Innovation Project
シニアマネージャー 下築 亮一（しもやな りょういち）
- 実施方法：
オンライン会議（会議ツール：Zoom）
URL：<https://japanairlines.zoom.us/j/87551876088?pwd=RW9MTFNkMWVjOTlidlBPNjFjRlBDQT09>
ミーティングID：875 5187 6088
パスワード：914348

[Skype for Business で参加される方]
URL：<https://japanairlines.zoom.us/skype/87551876088>

※「社名（媒体名）+氏名（フルネーム）」を設定のうえ、ご参加をお願いいたします。
※開始5分前の待機をお願いいたします。
※会見運営上、1社につき2名までとさせていただきます。
- 説明資料：プレスリリース
- 時 程：(1) 本取り組みの説明 (10分)
(2) 質疑応答 (20分)
※質疑応答時のご質問は、Zoomの「挙手」機能を使用して募集をする予定です。
※ご質問の際は、必ず「ビデオ ON」をお願いいたします。

以上

【お問い合わせ先】

日本航空株式会社 広報部 TEL：03-5460-3105

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略担当 TEL：03-3541-4141

ヤマトグループが貨物専用機を導入
日本航空と共同で北九州空港を九州の航空輸送拠点に選定！
～九州・西中国の物流拠点空港へ向けて大きく前進～

このたび、ヤマトホールディングス株式会社（以下「ヤマトグループ」）が、持続的な物流ネットワークの構築に向けて貨物専用機を導入し、日本航空株式会社（以下、JALグループ）と共同で九州の航空輸送の拠点に北九州空港へ就航することを発表いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 背景と意義

現在、**持続可能な輸送ネットワークの維持は私たちの生活基盤に不可欠なもの**となっており、その重要性が増しています。Eコマース市場の急成長、働き方改革による長距離トラック輸送に対する規制強化、災害時の輸送手段の確保など、**物流は大きな変革期**を迎えています。

こうした状況を踏まえ、ヤマトグループは、トラック、鉄道、フェリー、旅客機床下スペースなど既存の輸送モードに加え新たな輸送手段として貨物専用機を導入し、JALグループと連携し、羽田空港・成田空港・新千歳空港・那覇空港と並んで、**北九州空港を九州の拠点として選定**し、**貨物専用機を用いて2024年（令和6年）4月から運航開始することを決定**しました。

これにより、輸送力の確保とサービス品質の維持に向けて、**北九州空港が物流ネットワークの一翼として大いに活用**され、本市のみならず福岡県そして**九州全体の経済及び地域活性化に寄与**することが期待されます。

2 本市にとっての効果

この取組みにより、本市に以下の効果が見込まれます。

- ① 空港での貨物上屋機能の設置など、物流拠点空港として大きく前進
- ② 新規雇用の創出、エアポートバス・空港内商業施設の利用促進
- ③ 航空輸送のスピード感が生産地と消費地の距離を縮め、市民ニーズに応え
るとともに、地域産業の競争力向上、産業集積に大きく貢献 など

物流拠点化による空港の発展が、市民や地域産業に対し利便性をもたらし、さらなる需要を喚起し新たな投資を呼び込む**好循環の創出**を図っていきます。

3 運航概要（※当計画は、関係官庁の認可取得を前提としています。）

- | | |
|------------|--|
| (1) 運航開始 | 2024年（令和6年）4月 |
| (2) 運航受託会社 | ジェットスター・ジャパン株式会社 スプリング・ジャパン株式会社へ変更
(ヤマトグループが機材を用意) |
| (3) 運航路線 | 羽田空港・成田空港⇄ 北九州空港 |
| (4) 導入機材 | エアバス A321ceoP2F 型機（貨物専用機）
最大搭載重量は28トンで、3機を導入予定 |

【問い合わせ先】

港湾空港局空港企画課（担当：高岡、浦）

TEL：093-582-2308 / FAX：093-582-0181

令和4年11月22日
北九州市港湾空港局空港企画部空港企画課

機材イメージ画像を報道目的で使用する場合の注意事項

注意事項

ヤマトホールディングス株式会社から提供がございました「機材イメージ画像」の使用にあたりましては、必ず、

提供:ヤマトホールディングス株式会社 と記載ください。

* それ以外の画像の使用はお控え願います